



小中高校向け 無料 Adobe Express Admin Console 設定ガイド

2024年6月版

はじめに

Adobe Admin Consoleでは、仕様上、有償ライセンスの発注も可能です。
発注されないようご注意ください。

「有償ライセンス（Creative Cloud）」 誤発注に注意

Adobe Admin Consoleでは、仕様上、有償ライセンスの発注も可能です。発注されないようご注意ください。

Admin Console

概要 製品 ユーザー アカウント インサイト 設定 サポート

Adobe Japan_EDU

組織の詳細を設定

セキュリティ担当者を設定しましょう
重要なセキュリティ情報やプライバシー情報をお知らせする必要がある場合に、お客様の組織のどなたに連絡すべきかを設定してください。 [詳細情報](#)

セキュリティ担当者を設定

クイックリンク

~~追加購入~~ ユーザーを追加

管理者を追加

製品とサービス

製品

管理

ユーザー

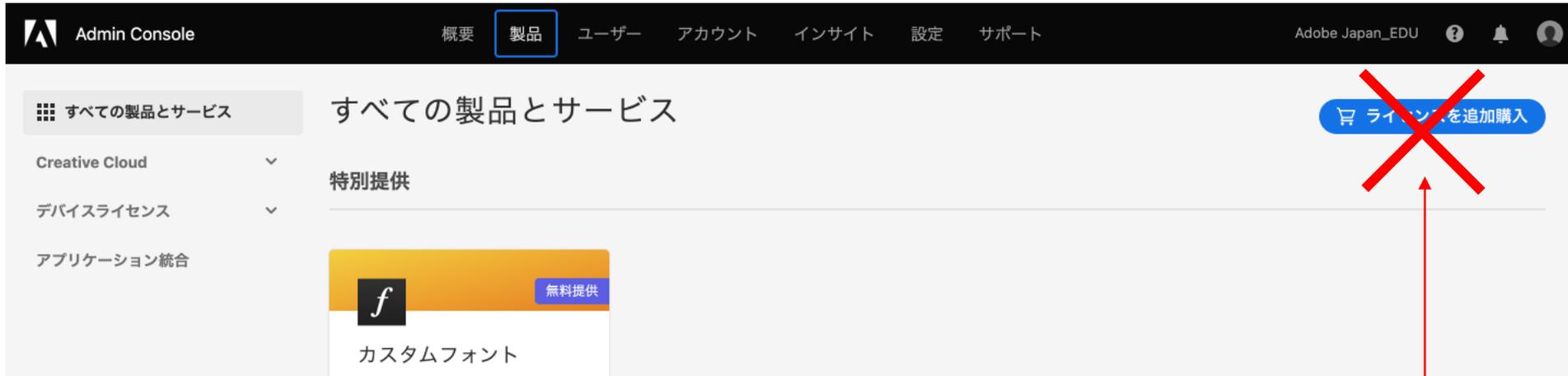
管理

ユーザー数 27

さわらないでください
トップページ"概要"の右にある、"追加購入"

「有償ライセンス（Creative Cloud）」 誤発注に注意

Adobe Admin Consoleでは、仕様上、**有償ライセンスの発注も可能です**。発注されないようご注意ください。



さわらないでください

"製品"タブの"ライセンスを追加購入"

「有償ライセンス（Creative Cloud）」誤発注に注意

Adobe Admin Consoleでは、仕様上、**有償ライセンスの発注も可能です**。発注されないようご注意ください。

The screenshot shows the Adobe Admin Console interface. The top navigation bar includes 'Admin Console', '概要', '製品', 'ユーザー', 'アカウント' (highlighted with a blue box), 'インサイト', '設定', and 'サポート'. The user is logged in as 'Adobe Japan_EDU'. The main content area is titled 'アカウント' and 'Adobe Japan_EDU'. A blue button labeled 'ライセンスを追加' is crossed out with a large red 'X'. Below this, there is a section for 'プランの詳細' (Plan Details) with a table of information:

販売店	Adobe Inc.
VIP 番号	EFE44B5B665E17778ACA
契約オーナー	GIGA TARO

Below the table, there is a '更新' (Update) section with a warning message: '製品を継続して使用するには、VIP を通じて購入したすべてのライセンスを各年の契約応当日までに更新する必要があります。更新期間に入ると、アドビから管理者にメールにて通知されます。アドビ営業担当または販売店にご連絡の上、更新を注文してください。' Below this, there is a table with one row: '契約応当日' (Contract start date) with the value '初回注文まで保留中' (On hold until first order).

さわらないでください

"アカウント"タブの"ライセンスを追加"

「有償ライセンス（Creative Cloud）」誤発注に注意

【すぐに「閉じる」】 誤って”追加購入””ライセンスを追加”などクリックした場合、購入場면을閉じてください。

製品を追加

Add product

製品またはサービスの検索

Q 入力してください...

グループにおすすめの製品
グループの使用状況に基づくおすすめです

AI Assistant for Acrobat - Enterprise おすすめ 追加
Provides access to AI features in Acrobat li...

Acrobat Pro - エンタープライズ版 追加
完全な変換と編集機能、高度な保護機能、強力...

Adobe Captivate - 大規模法人向け 追加
Adobe Captivate はレスポンスな eLearning...

ライセンスの詳細

チャットを開始

リストから製品またはサービスを選択し、購入するライセンス数を設定します。

閉じる ここをクリック

サイト 設定 ... sakamoto Edu CCE K12-4

追加購入

押さない

CSVに書き出し

タグ

無料提供

数量	タグ	ステータス
1	ユーザー	-

© 2024 Adobe. All rights reserved.

ご利用申込後

お申し込みのメールアドレス宛に
無料Adobe Express (小中高校向け)を利用するためのVIP ID招待メールが届きます

①お申し込みのメールアドレスに以下の内容のメールが届きます。



Adobe Value Incentive Plan への招待を承認してください

Adobe Inc. 様より Adobe VIP (Value Incentive Plan) に招待されています。VIP は、アドビの製品やサービスを購入することができるサブスクリプションライセンスプログラムです。

VIP に参加すると、アドビ製品の購入や組織での使用を管理することができます。

[今すぐ加入](#)

サポートが必要な場合やご不明な点がある場合は、Adobe Inc. までお問い合わせください。

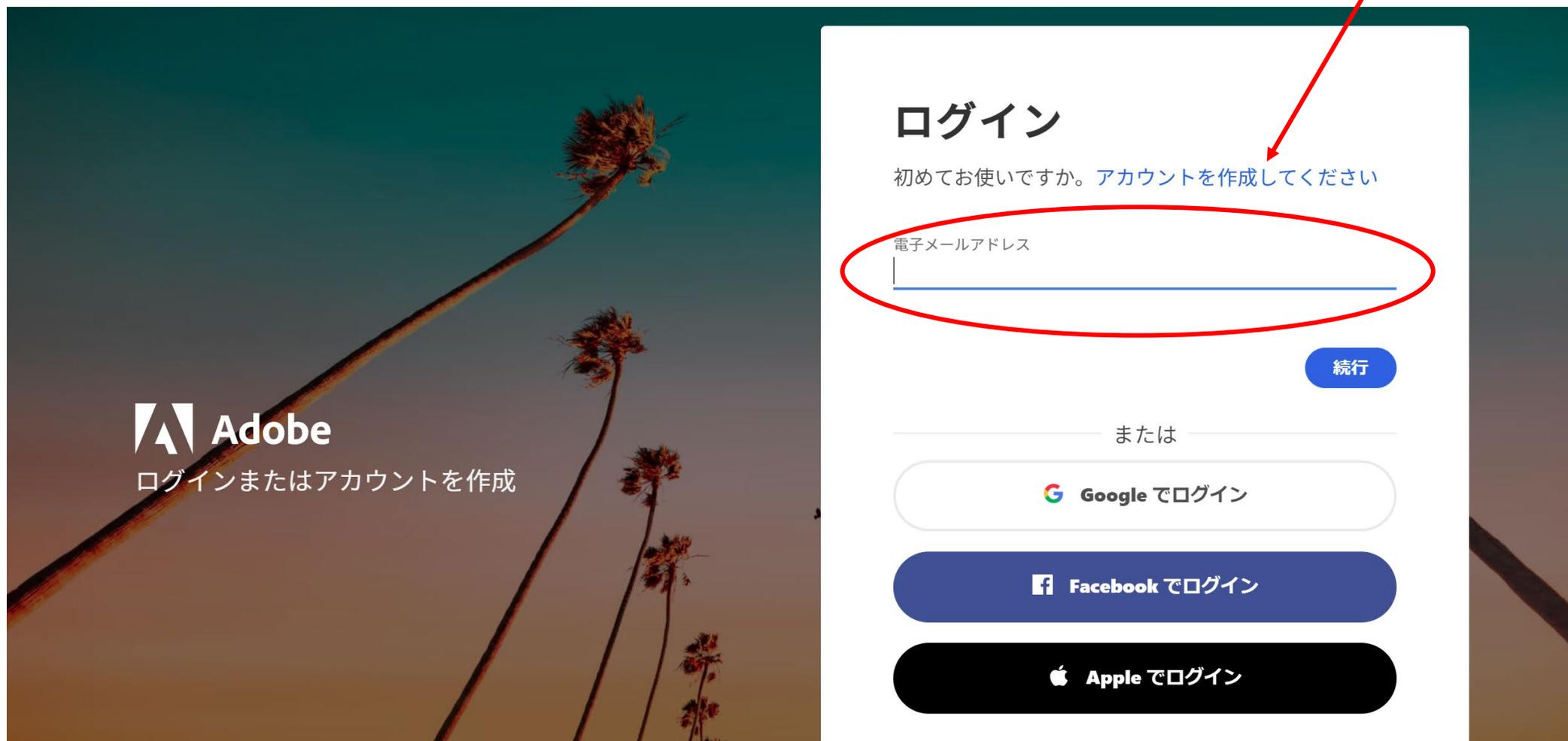
<p>VIP (Value Incentive Plan) アドビのサブスクリプション購入プログラムである VIP については、こちらをご覧ください。</p>	<p>サポートが必要な場合 アドビでは、企業のお客様のために、様々なカスタマーサポートオプションをご用意しています。</p>	<p>エンタープライズ版の管理 グループを管理するには、Admin Console にログインしてください。</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------

アカウントの管理 | カスタマーサポート | フォーラム

ここをクリック

- ①Adobe IDでログインします。
(初めてお使いの場合はアカウントを作成してください)

初めての場合はこちら



*Adobe IDの2段階認証を設定されている場合は、ご登録の携帯電話（SMSパスコードを受信できる状態）もご用意ください。詳しくは[こちら](#)

②Adobe Value Incentive Plan (VIP)に加入します（無料）。

Adobe Value Incentive Plan に加入

プランの詳細を確認し、組織の利用条件に同意してください。アドビのライセンスオプションについて詳しくは、[ボリュームライセンス比較ガイドを表示](#)を参照してください。

詳細を表示する

この情報に誤りがある場合は、続行する前に Adobe Japan PHD のアカウントマネージャーにお問い合わせください。

契約	組織名	販売店
マーケットセグメント 教育	組織名	販売店名
契約応当日 初回注文まで保留中	法人/団体の住所	販売店の住所
VIP ID		

利用条件に同意する

下のチェックボックスを選択し、「利用条件に同意する」をクリックすることにより、お客様は組織を代表して [Adobe Value Incentive Plan 利用条件](#) に同意したとみなされます。

私はこの組織のメンバーであり、組織を代表してこの条件に同意する権限を与られています。私は、上記のリンク先にある「Adobe Value Incentive Plan 利用条件」を読み、これに同意します。

チェックする

利用条件に同意する

ここをクリック

- ⑤ 画面上部のタブからアカウント > 組織の詳細 に進み、組織の種類を選択します。
種類は「小中高校」を選択します。

about Projects in business storage

組織の種類を確認する

組織の種類を選択

組織の種類が保存されたら、Adobe サポートに連絡して変更を加える必要があります。

小中高校 選択

(例：小中高校、教育委員会など)。 [適格性についてはこちらを参照してください。](#)

- 学生のプライバシー保護のため、小中高校生には Enterprise ID または Federated ID を割り当てる必要があります。個人用 Adobe ID を割り当てると、学生のプライバシー保証がすべて無効になります。 [追加条件に関する詳細情報](#)
- Enterprise ID または Federated ID を使用するには、ユーザーを追加する前に ID を設定する必要があります。 [ステップバイステップガイドはこちらをクリックしてください。](#)

高等教育機関
(例：大学、短大、専門学校など)

その他
(教育機関向けライセンスをご利用の法人・施設・機関)

キャンセル 確認して続行 ここをクリック

- ⑥ Admin Consoleの上部のメニューから「製品」を選択した画面で「Adobe Express 小中高校向け」の「今すぐ始める」を選択します。

The screenshot shows the Adobe Admin Console interface. At the top, the navigation bar includes 'Admin Console' and several menu items: '概要' (Overview), '製品' (Products), 'ユーザー' (Users), 'アカウント' (Accounts), 'インサイト' (Insights), '設定' (Settings), and 'サポート' (Support). The '製品' menu item is highlighted with a red rectangular box. Below the navigation bar, the main content area is titled 'すべての製品とサービス' (All products and services). On the left, there is a sidebar with 'すべての製品とサービス' (All products and services), 'デバイスライセンス' (Device licenses), and '製品の自動割り当て' (Automatic product assignment). The main content area shows a section for '特別提供' (Special offers) with a '名前' (Name) column. A product entry for 'Adobe Express 小中高校向け' is visible, featuring the Adobe Express logo, the product name, and an information icon. The '今すぐ始める' (Get started) button for this product is circled in red. A red arrow points from a yellow box labeled 'ここをクリック' (Click here) to the button.

⑥-2 内容をご確認の上「同意する」に
チェックを入れ「確定」をクリックします。

Adobe Express 小中高校向け を受け入れる

傑出したグラフィック、プレゼンテーション、ショートビデオを簡単に作成でき、学生や教育者向けのテンプレートを使ってすぐに制作を開始できます。強化されたデータプライバシー機能や学生 ID でのログイン機能が搭載されています。

この提供に含まれるもの

- Adobe Photoshop Express
- Premiere Rush
- Premiere Rush モバイル
- Spark Page
- Spark Video
- Adobe Firefly
- Creative Cloud アセット
- Creative Cloud 公開ストレージ
- DC ストレージ
- エンタープライズ共有ストレージ
- マネージドサービス
- Acrobat Create PDF
- Acrobat Export PDF
- Adobe Express
- Adobe Fonts
- Core CC Services
- PDF Services
- Project Spice (プレリリース)
- Publish Online
- Workspaces
- エンタープライズストレージ
- 公開サービス

下の「同意する」をクリックすると、オファーを受け入れたものとみなされます。オファーを受け入れた後で変更する場合は、[Adobe サポート](#)にご連絡ください。

同意する

チェックする

ここをクリック

キャンセル

確定

⑥-3 同意後にサービスを選択することも可能です。製品プロフィールの中の「詳細」を選択し、「次へ」をクリックするとサービスを選択できます。

すべての製品とサービス

すべての製品とサービス > Adobe Express 小中高校向け > 既定の Adobe Express 小中高校向け 構成

デバイスライセンス >

統合とアドオン >

製品の自動割り当て >

 既定の Adobe Express 小中高校向け 構成 詳細

総サービス	使用サービス	自動割り当てルール
7	7	なし

ユーザー 管理者数

メールアドレス、ユーザー名、姓または名で検索

製品プロフィールを編集 Adobe Express 小中高校向け

1 プロファイルの詳細を編集 > 2 サービスを有効にする

製品プロフィールを使用すると、製品の使用権の付与、ユーザーのメール通知設定の制御、割り当て数とサービスのカスタマイズをおこなうことができます。製品プロフィールの作成および管理について

プロフィールの詳細

製品プロフィール名
既定の Adobe Express 小中高校向け 構成

表示名 (オプション)

説明 (オプション)

通知

キャンセル 次へ

製品プロフィールを編集 Adobe Express 小中高校向け

1 プロファイルの詳細を編集 > 2 サービスを有効にする

Creative Cloud のユーザーは、すべてのサービスを有効にすることで最良の結果が得られます。サービスが無効になっている場合、Creative Cloud 内の多くの機能が動作しなくなります。以下に示されていない特定のサービスは、製品機能のコアであり、常にオンになっています。
[各サービスのセキュリティと価値の詳細](#)

サービス すべてオン

-  Adobe Express ⓘ
-  Adobe Firefly ⓘ
-  Device Preview ⓘ
-  Extract ⓘ
-  Fonts ⓘ
-  Publish Online ⓘ

キャンセル 戻る 保存

⑦Admin Consoleの上部のメニューから「設定」を選択した画面で「ディレクトリを作成」を選択します。

Admin Console 概要 製品 ユーザー パッケージ アカウント ストレージ インサイト **設定** サポート Education K12 CCE 001 ? 🛎️ 👤

ID 設定

アセット設定

プライバシーとセキュリティ >

コンソール設定

コンテンツのログ

暗号化設定

ID 設定

ディレクトリ	ドメイン	共同利用者	アクセス要求
1	0	0	0

ディレクトリ ドメイン

ディレクトリ名で検索

ステータスを選択

...

<input type="checkbox"/> ↑ 名前	種類	ステータス
<input type="checkbox"/> Business ID	Business ID	● アクティブ

< 前へ 次へ >

ページごとの表示数 20 ▾

ここをクリック

利用条件 プライバシー AdChoices Cookie の環境設定 個人情報の販売または共有を禁じます 日本語

© 2024 Adobe. All rights reserved.

⑧ディレクトリ名を入力し、「Federated ID」を選択、「次へ」をクリックします。

ディレクトリを作成

ディレクトリ名を入力し、新しいディレクトリのディレクトリタイプを選択します。

ディレクトリ名を追加

ディレクトリ名

directory_NAME

ディレクトリタイプを選択

Federated ID

Federated ID は、ID プロバイダーを介したシングルサインオン (SSO) をサポートします。組織は、ユーザーアカウントとそのアセットをホストし、保持します。

利点

- ユーザーは SSO を介して組織のパスワードを使用できます。
- 一部の ID プロバイダーからの既存のユーザーと SSO セットアップを同期します。

[Federated ID の詳細情報](#)

Enterprise ID

Enterprise ID を使用すると、組織はユーザーアカウントとアセットを保持でき、アドビが認証を処理します。このオプションでは SSO をサポートしていません。

利点

- ユーザーは Adobe 用に独自のパスワードを作成します。
- サードパーティの ID プロバイダーは必要ありません。
- すばやく簡単にセットアップできます。

[Enterprise ID の詳細情報](#)

キャンセル 次へ

⑨ご利用のIDプロバイダーを選択して「次へ」をクリックします。

認証用の ID プロバイダーを選択

お客様の組織がユーザーの認証に使用している ID プロバイダーを選択します。



Microsoft Azure Active Directory

Microsoft Azure Active Directory 経由の OpenID Connect によるシングルサインオン (SSO) を使用している場合は、このオプションを選択します。

[Azure を使用した認証の詳細](#)



Google

Google Workspace 経由の SAML によるシングルサインオン (SSO) を使用している場合は、このオプションを選択します。

[Google を使用した認証の詳細](#)



他の SAML プロバイダー

組織でシングルサインオン (SSO) に SAML を使用している場合は、このオプションを選択します。

[SAML を使用した認証の詳細](#)

キャンセル **Azure AD にログイン**

いずれかを選択

この例では、
Microsoft Azure ADを選択
※Microsoft Entra ID をご利用の場合もこちらを選択下さい

ここをクリック

Microsoft Azure AD

→p.20へ続きます

Google

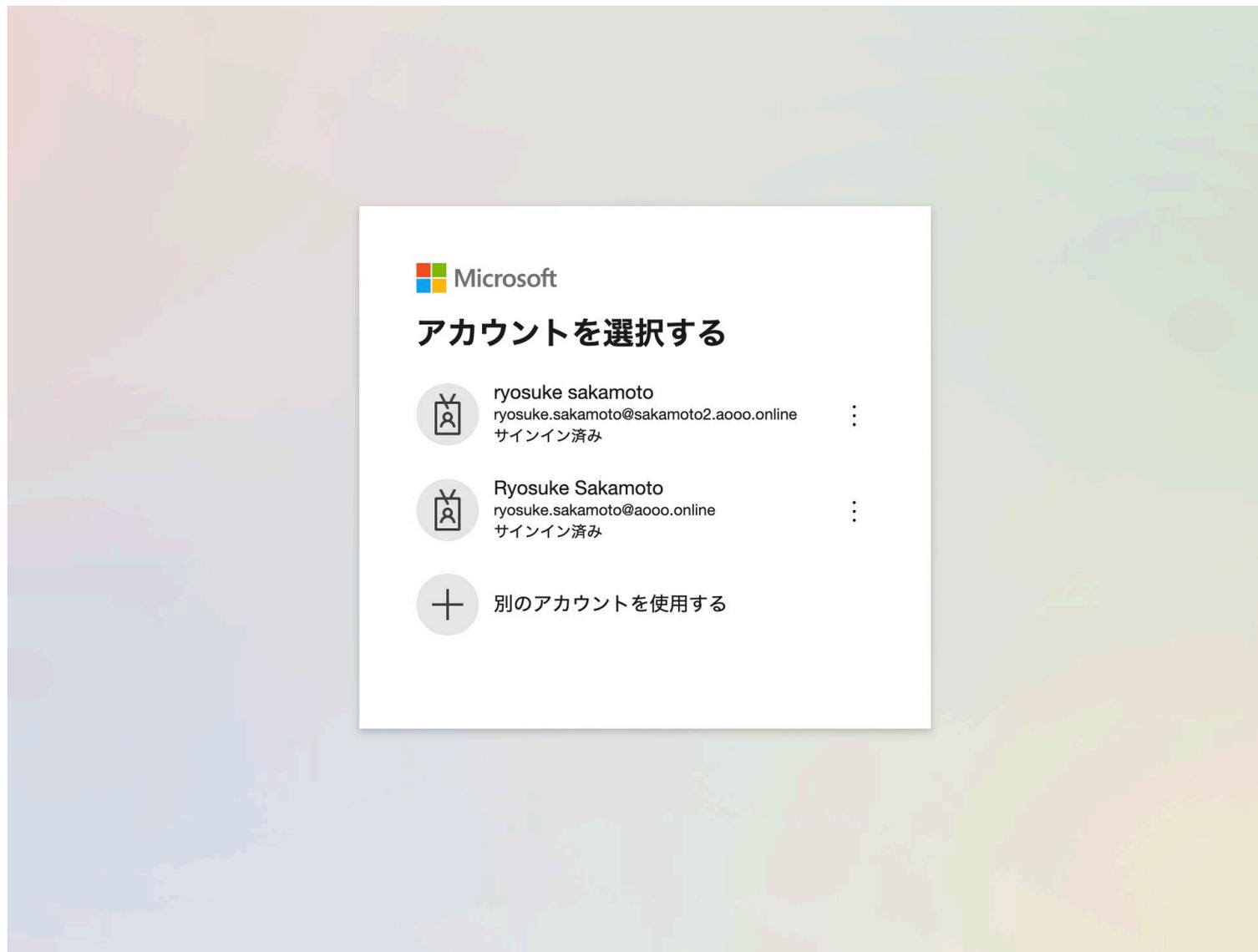
→p.28へ続きます

Microsoft Azure ADの場合

こちらをご確認ください

<https://helpx.adobe.com/jp/enterprise/admin-guide.html/jp/enterprise/using/sso-setup-azure.ug.html>

M-① P18の「次へ」をクリック後、Microsoft Azureにログインします。



M-② Microsoft アカウントサインページにて管理者としてログインします。
以下の情報を確認した後、「承諾」をクリックします。



 Microsoft

admin@okawariyokogmail.onmicrosoft.com

要求されているアクセス許可 組織として承認する

 Adobe Identity Management
Adobe アプリ情報

このアプリケーションは、Microsoft またはお客様の組織によって公開されたものではありません。

このアプリに必要なアクセス許可:

- ✓ サインインとユーザー プロファイルの読み取り
- ✓ ディレクトリ データの読み取り
- ✓ Read directory data
- ✓ Read all users' full profiles

同意すると、このアプリは組織内のすべてのユーザーの指定のリソースにアクセスできるようになります。これらのアクセス許可の確認を求めるメッセージは、他のユーザーには表示されません。

これらのアクセス許可を受け入れることは、[サービス利用規約](#)と[プライバシーに関する声明](#)で指定されているとおりにこのアプリがデータを使用することを許可することを意味します。これらのアクセス許可は <https://myapps.microsoft.com> で変更できます。
[詳細の表示](#)

キャンセル **承諾**

ここをクリック

M-③ Adobe Admin Consoleに戻り、Azure ADの情報を確認して「確定」をクリックします。

Azure AD ID プロバイダー (IdP) を構成

お客様の Azure AD 組織の詳細を確認します。

テナント ID	a39afc4f-f370-42bc-a209-48eb1980dff6
プロトコル	OpenID Connect

確認

ここをクリック

キャンセル 確定

M-④ 「ドメインを追加」の画面に遷移しますので、Azure AD を選択し、「Azure AD にログイン」をクリックします。

いずれかを選択

この例では、
Microsoft Azure を選択

Admin Console 概要 製品 ユーザー パッケージ アカウント インサイト 設定 サポート sakamoto Edu CCE2

ドメインを追加

ドメインの追加に使用する方法を選択します。

 **Microsoft Azure Active Directory からドメインを追加する**

検証済みドメインを Microsoft Azure からインポートする場合は、このオプションを選択します Active Directory

[詳細](#)

 **Google からドメインを追加する**

検証済みドメインを G Suite から読み込む場合は、このオプションを選択します

[詳細情報](#)

ドメインを追加

検証済みドメインを Azure AD からインポートするが、手動で入力して DNS トークンを介して検証します。

[ドメインを追加](#)

[キャンセル](#) [Azure AD にログイン](#)

ここをクリック

M-⑤ 追加したドメインにチェックを入れ、「完了」をクリックします。

Azure AD からドメインを追加する

Adobe Admin Console で要求するドメインを Azure AD から選択します。

名前	ステータス
<input type="checkbox"/> [Redacted]	● 別の組織が所有しています
<input checked="" type="checkbox"/> onmicrosoft.com	● 利用可能
<input type="checkbox"/> [Redacted]	● 別の組織が所有しています
<input type="checkbox"/> [Redacted]	● 利用可能
<input type="checkbox"/> jp[Redacted]	● 別の組織が所有しています
<input type="checkbox"/> [Redacted]	● 利用可能
<input type="checkbox"/> [Redacted]	● 別の組織が所有しています

キャンセル 確定

選択

ここをクリック

M-⑥ 検証済みのドメインとディレクトリに対して、Azure AD からの同期を設定します

Azure AD からの同期の設定については以下の.pdf（Admin Console ご利用ガイド）のP94(資料上P90)をご参照ください。

https://cbconnection.adobe.com/content/dam/cbc-assets/public/ja/ja-5/adminConsole_guide_corp_jp.pdf

M-⑦ 製品へのユーザー割り当てをします。

ここをクリック

M-⑧ Azure ADから同期されたグループ名を入力し、

Adobe Express の製品プロファイルを選択して、製品の「+」をクリックAdobe Expressを選択して「保存」をクリックします。これでグループ内全てのユーザーにAdobe Express の権限を付与することができます。

この製品にユーザーを追加

この製品に追加するユーザーのメールアドレスを入力してください。

Adobe Express 小中高校向け

入力

ユーザー 1

名前 ユーザーグループ、またはメールアドレスを入力

adobe.sakamoto@gmail.com

IDの種類 Adobe ID

名前 メールアドレス SSO ユーザー名

Sakamoto Ryosuke adobe.sakamoto@gmail.com adobe.sakamoto@g...

製品

+ Adobe Express 小中高校向け

製品プロファイル
既定の Adobe Express 小中高校向け 構成

ユーザー 2

名前、ユーザーグループ、またはメールアドレスを入力

キャンセル 保存

実際の画面と
一部表記が
異なる場合があります

ここをクリック

ここをクリック

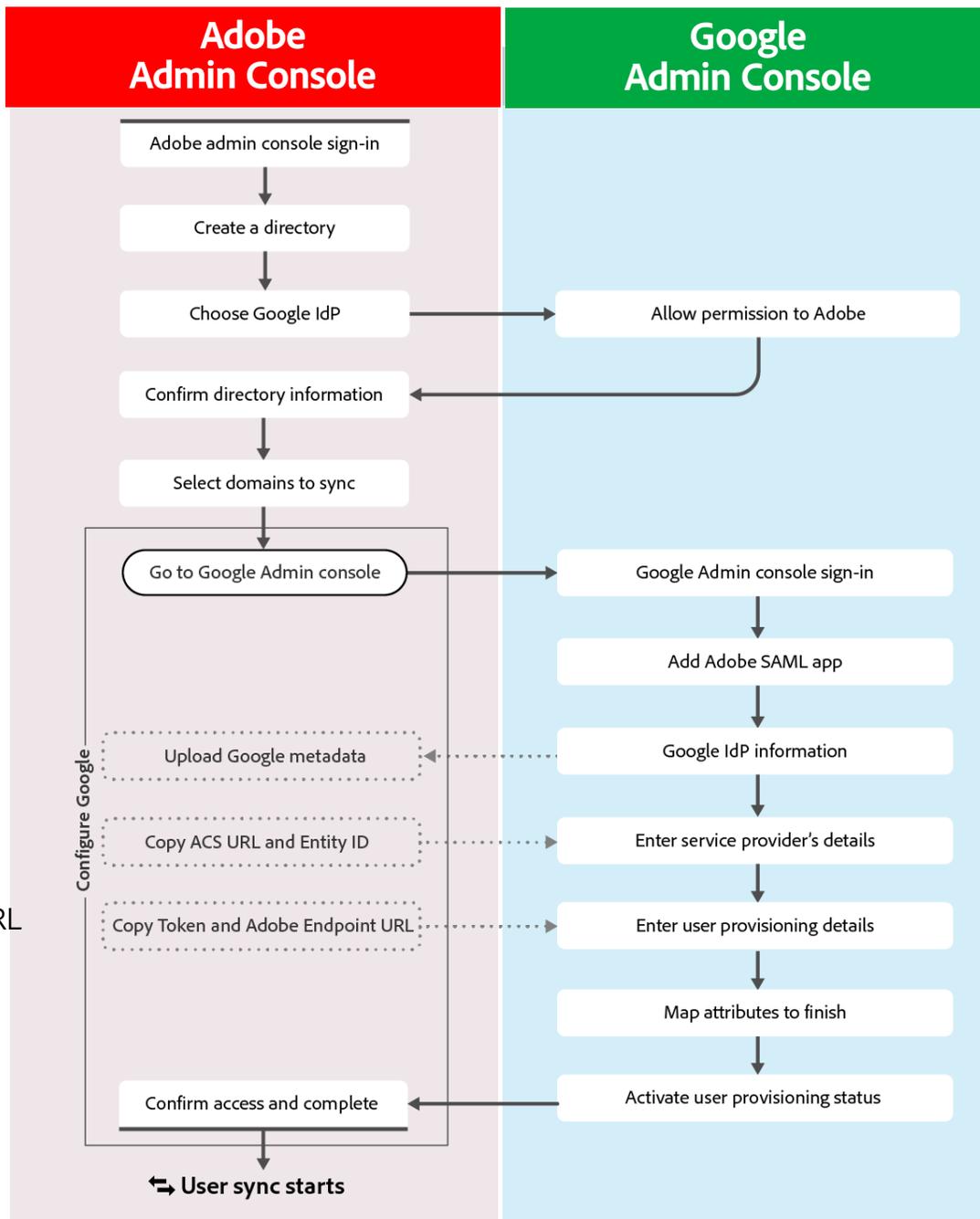
Googleの場合

こちらをご確認ください

<https://helpx.adobe.com/jp/enterprise/admin-guide.html/jp/enterprise/using/setup-sso-google.ug.html>

ワークフローの概要

- ディレクトリを作成する (→p.12)
- ① Google Idpを選択する (→p.13)
- ③ディレクトリを確定
- ④ドメインを同期する
- ⑤Google Admin Consoleに移動
- ⑨Google メタデータをアップロード
- ⑩ACS URLとエンティティIDをコピー
- ⑬アクセストークンとAdobe Endpoint URLをコピー
- ⑯ Google Admin console で Adobe へのアクセスを認証し、設定手順を完了



②Google Admin Consoleでパーミッションを許可する

⑥Google Admin Consoleにサインイン

⑦Adobe SAML appを追加する

⑧Google Idp情報を取得する

⑪サービスプロバイダーの詳細を記入

⑫属性のマッピング

⑭自動プロビジョニングを設定

⑮ユーザープロビジョニングをアクティベート

G-① ※p16からの続き：Googleにログインします。

ディレクトリを作成

1 IdP の設定 > 2 アカウントの自動作成の設定

ここをクリック

以下の手順で、ID プロバイダーを設定してください。

手順 1 : Google 管理コンソールでアクセスを認証する

Google 管理コンソールにログインします。

Google 管理コンソールに移動

手順 2 : Google 管理コンソールで Adobe SAML アプリケーションを追加する

- SAML アプリケーションリストから Adobe を選択します。
- 手順 3 に必要な Google IdP メタデータファイルをダウンロードします。
- 以下の ACS URL およびエンティティ ID 情報をコピーして、サービスプロバイダーの詳細セクションに貼り付けます。
- 名前 ID の形式が EMAIL に設定され、名前 ID がメインのメールアドレスを指していることを確認してください。これは、Adobe Admin Console のユーザーのユーザー名の値と一致している必要があります。

ACS URL

`https://federatedid-na1.services.adobe.com/federated/saml/SSO/alias/b01079f7-1f88-4471-9f25-df45a21092fc`

クリップボードにコピー

エンティティ ID

`https://federatedid-na1.services.adobe.com/federated/saml/metadata/alias/b01079f7-1f88-4471-9f25-df45a21092fc`

クリップボードにコピー

前へ キャンセル 次へ

G-② Google サインページにて管理者としてログインします。

以下の情報を確認した後、必要な権限にチェックをつけ、「許可」をクリックします。



G-③ Adobe Admin Consoleに戻り、Google の情報を確認して「確定」をクリックします。

Google から ID とユーザーを同期

ログイン 確定 ドメイン ユーザーを同期

ディレクトリの詳細

Google アカウントからディレクトリ情報を確認します。

ディレクトリ名	Google IDP
ユーザーログイン設定	ユーザーのメールアドレス
組織名	test
プロトコル	SAML

確認

ここをクリック

キャンセル 確定

G-④ Adobe Admin Console と同期させるドメインを選択し、「同期」をクリックして、「次へ」をクリックします。

Google から ID とユーザーを同期

ログイン 確定 ドメイン ユーザーを同期

Google 管理コンソールからドメインを選択して、Adobe Admin Console に同期します。

検索

すべてのドメインを選択を解除

名前	ステータス	アクション
yokoborispark.page	● 所有権が検証されました	<input checked="" type="checkbox"/> 同期中

< 前へ 次へ > 各ページのアイテム 10 ↓

キャンセル 次へ

選択

ここをクリック

G-⑤ Google Admin Consoleに移動します。（別ウィンドウが開きます）

Google の設定

手順 1 : Google Admin console でアクセスを認証する

Google Admin console にログインします。

[Google Admin Console に移動](#)

手順 2 : Google Admin console で Adobe SAML アプリケーションを作成する

アプリケーションに移動します。SAML アプリケーションを選択します。「アプリケーションの新規作成」をクリックし、次の手順に従って SAML アプリケーションの作成を完了します。

- SAML アプリケーションリストから Adobe を選択します。
- 手順 3 で必要になる**オプション2** Google IDP メタデータファイル (オプション 1 ではありません) をダウンロードします。
- Adobe の基本情報を入力します。デフォルトのままにしておくことができます。
- 以下の ACS URL およびエンティティ ID 情報をコピーして、サービスプロバイダーの詳細セクションに貼り付けます。
- emailAddress 属性マッピングとして「基本情報」と「プライマリ電子メール」を選択します。

ACS URL

`https://federatedid-na1.services.adobe.com/federated/saml/SSO/alias/...`

[クリップボードにコピー](#)

エンティティ ID

`https://federatedid-na1.services.adobe.com/federated/saml/metadata/alias/...`

[クリップボードにコピー](#)

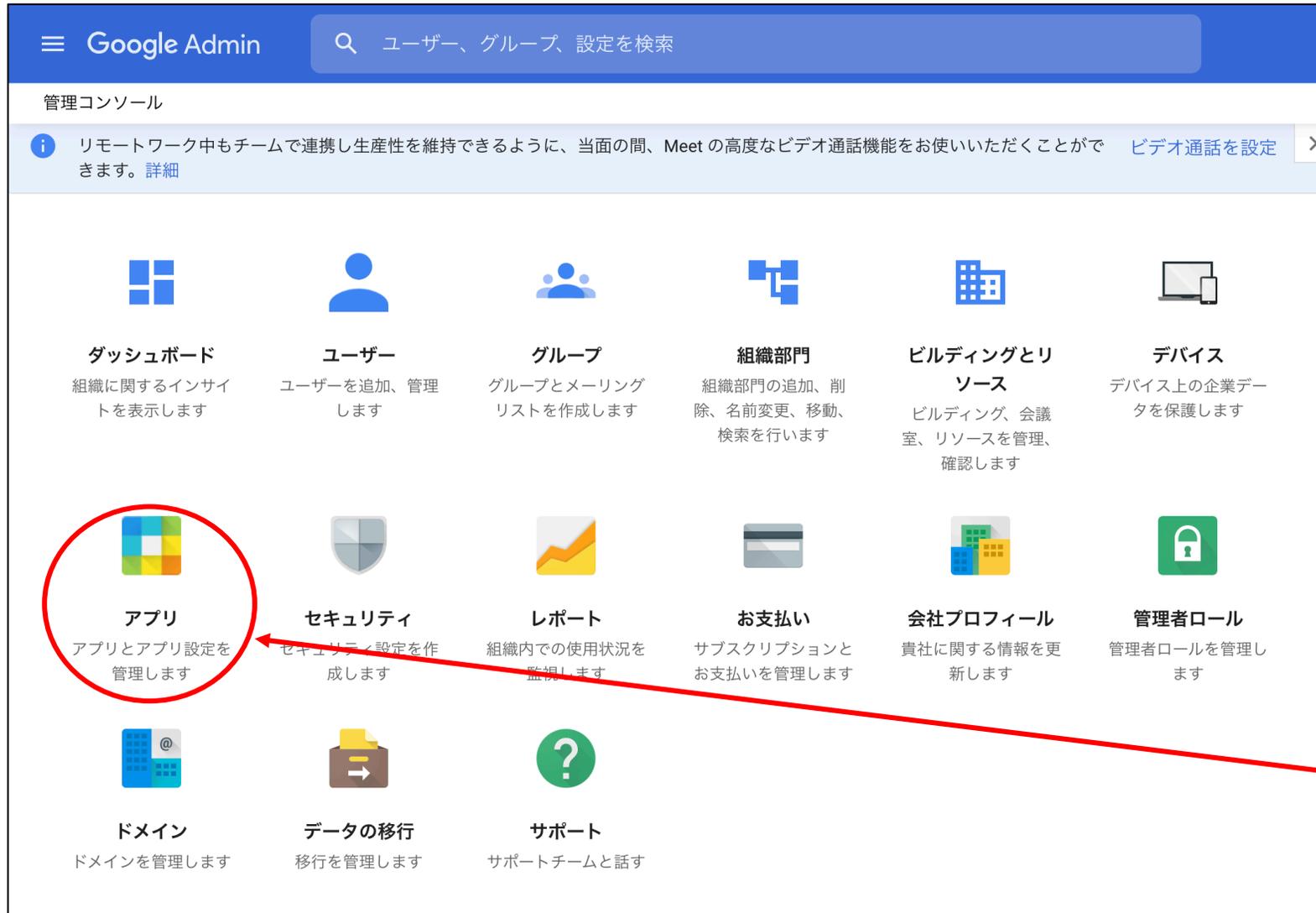
手順 3 : Google メタデータをアップロードする

前の手順でダウンロードした IDP メタデータファイルをアップロードします (オプション2)。このファイルは、Google

[閉じる](#) [保存](#)

ここをクリック

G-⑥-1. Google Admin Consoleにログインし、ホーム画面から「アプリ」に進みます。



ここをクリック

G-⑥-2. 「ウェブアプリとモバイルアプリ」を開きます。

Google Admin

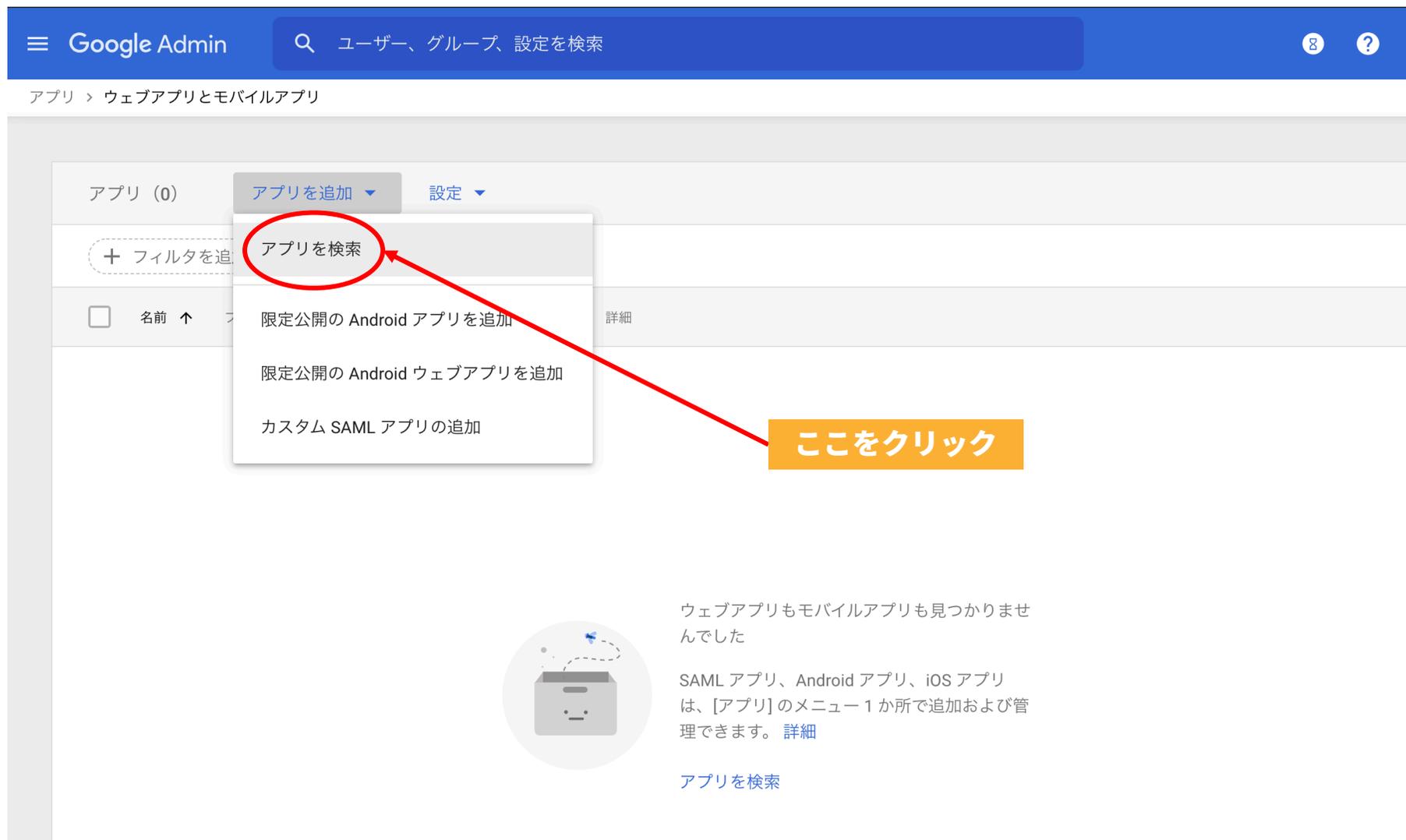
ユーザー、グループ、設定を検索

アプリ

ここをクリック

<p>Google Workspace</p> <p>Google Workspace コアサービス</p> <p>サービス 14 個</p>	<p>その他の Google サービス</p> <p>ブログ、写真、動画、ソーシャル ツールなど</p> <p>サービス 54 個</p>	<p>ウェブアプリとモバイルアプリ</p> <p>SAML、Android、iOS のアプリを管理します</p> <p>アプリなし</p>
<p>Google Workspace Marketplace アプリ</p> <p>サードパーティ製アプリを追加、管理します</p> <p>サービスなし</p> <p>管理</p>	<p>SAML アプリ</p> <p>SSO とユーザー プロビジョニングを管理します</p> <p>サービスなし</p>	<p>LDAP</p> <p>LDAP クライアントの追加と管理</p> <p>クライアントはありません</p>

G-⑦-1. 「アプリを検索」をクリック。



Google Admin

ユーザー、グループ、設定を検索

8 ?

アプリ > ウェブアプリとモバイルアプリ

アプリ (0) アプリを追加 設定

+ フィルタを追加

名前 ↑

アプリを検索

限定公開の Android アプリを追加

限定公開の Android ウェブアプリを追加

カスタム SAML アプリの追加

ここをクリック

ウェブアプリもモバイルアプリも見つかりませんでした

SAML アプリ、Android アプリ、iOS アプリは、[アプリ] のメニュー 1 か所で追加および管理できます。 [詳細](#)

[アプリを検索](#)

G-⑦-2. 検索フィールドにAdobeと入力し、スクロールしてリストから「Adobe」を選択します。

× アプリを検索
SAML 対応アプリ、Google Play の Android アプリ、App Store の iOS アプリを検索します

 Apple プッシュ証明書が設定されていないため、iOS アプリを設定できません。 [詳細](#) [設定](#)

Adobe

メモ: iOS App Store の URL  も入力できます

アプリ	プラットフォーム
 Adobe Acrobat Reader : PDF ビューア、エディター、クリエイター	Android
 Adobe Sign	ウェブ (SAML)
 Adobe Creative Cloud	Android
 Adobe	ウェブ (SAML) 選択
 Adobe Scan: OCR 付き PDF デジタルスキャンカメラ	Android
 Adobe Photoshop Express: フォトエディター コラージュ作成	Android
 Adobe Photoshop Mix	Android
 Adobe Illustrator Draw	Android
 Adobe Capture : ベクターおよびパターンメーカー	Android

選択

G-⑧ Google IdP 情報画面のオプション1で IdP メタデータをダウンロードして、「次へ」をクリックします。

× 「Adobe」 の追加

1 Google ID プロバイダの詳細 — 2 サービス プロバイダの詳細 — 3 属性のマッピング

 Adobe ウェブ (SAML)

SAML アプリに対するシングル サインオン (SSO) を設定するには、サービス プロバイダの指示に従ってください。 [詳細](#)

オプション 1: IdP メタデータをダウンロードする

メタデータをダウンロード **選択**

または

オプション 2: SSO の URL、エンティティ ID、証明書をコピーする

SSO の URL

G-⑨ Adobe Admin Console の「手順 3 : Google メタデータをアップロードする」で前ページでダウンロードしたファイルをアップロードします。

Google の設定

手順 3 : Google メタデータをアップロードする

前の手順でダウンロードした IDP メタデータファイルをアップロードします (オプション 2)。このファイルは、Google Admin Console で作成された SAML アプリケーションのサービスプロバイダ詳細セクションからダウンロードすることもできます。

ファイルをここにドラッグ&ドロップするか、コンピューターからファイルを選択してください。

ファイルをアップロード

手順 4 : Google Admin console でユーザープロビジョニングを認証して設定する

下のトークンを使用して、Adobe Admin Console へのアクセスを認証し、ユーザーを同期します。このトークンを Google Admin console のユーザープロビジョニングセクションにコピー&ペーストし、ユーザープロビジョニングの設定手順に従います。

アクセストークン

G-⑩ 「手順 2 : Google Admin console で Adobe SAML アプリケーションを作成する」
で、「**ACS URL**」と「**エンティティ ID**」をコピーします。

Google の設定

手順 1 : Google Admin console でアクセスを認証する

Google Admin console にログインします。

[Google Admin Console に移動](#)

手順 2 : Google Admin console で Adobe SAML アプリケーションを作成する

アプリケーションに移動します。SAML アプリケーションを選択します。「アプリケーションの新規作成」をクリックし、次の手順に従って SAML アプリケーションの作成を完了します。

- SAML アプリケーションリストから Adobe を選択します。
- 手順 3 で必要になる**オプション 2** Google IDP メタデータファイル (オプション 1 ではありません) をダウンロードします。
- Adobe の基本情報を入力します。デフォルトのままにしておくことができます。
- 以下の ACS URL およびエンティティ ID 情報をコピーして、サービスプロバイダーの詳細セクションに貼り付けます。
- emailAddress 属性マッピングとして「基本情報」と「プライマリ電子メール」を選択します。

ACS URL

`https://federatedid-na1.services.adobe.com/federated/saml/SSO/alias/...`

[クリップボードにコピー](#)

エンティティ ID

`https://federatedid-na1.services.adobe.com/federated/saml/metadata/alias/...`

[クリップボードにコピー](#)

ここをクリック

ここをクリック

- G-⑪ Google Admin console 「サービスプロバイダーの詳細」 ウィンドウに移動します。
前ページでコピーした「ACS URL」と「エンティティ ID」を入力します。
署名付き応答ボックスにチェックを入れて、「続行」をクリックします。

× 「Adobe」の追加

Google ID プロバイダの詳細 — サービスプロバイダの詳細 — 属性のマッピング

Adobe ウェブ (SAML)

サービスプロバイダの詳細

シングルサインオンを設定するには、サービスプロバイダの詳細情報 (ACS の URL やエンティティ ID など) の入力が必要です。 [詳細](#)

ACS の URL

<https://federatedid-na1.services.adobe.com/federated/saml/SSO/alias/>

エンティティ ID

<https://federatedid-na1.services.adobe.com/federated/saml/metadata/alias/>

追加 URL (省略可)

署名付き応答

名前 ID

ID プロバイダでサポートされる名前の形式を定義します。 [詳細](#)

名前 ID の形式

EMAIL

名前 ID

Basic Information > Primary email

戻る キャンセル **続行**

入力

チェック

ここをクリック

G-⑫ 属性のマッピングはなにもマッピングせず「完了」ボタンをクリックします。

× 「Adobe」 の追加

✓ Google ID プロバイダの詳細 — ✓ サービス プロバイダの詳細 — 3 属性のマッピング

 Adobe ウェブ (SAML)

属性

Google Directory のユーザー フィールドを追加および選択し、サービス プロバイダの属性にマッピングしてください。* の付いた属性は必須です。 [詳細](#)

Google Directory の属性 アプリの属性

フィールドを選択 → ×

[マッピングを追加](#)

戻る キャンセル **完了**

× をクリック

ここをクリック

G-⑬ 「手順 4 : Google Admin console でユーザープロビジョニングを認証して設定する」で、「アクセストークン」と「Adobe URL」をコピーします。

Google の設定

手順 3 : Google メタデータをアップロードする

前の手順でダウンロードした IDP メタデータファイルをアップロードします (オプション2)。このファイルは、Google Admin Console で作成された SAML アプリケーションのサービスプロバイダ詳細セクションからダウンロードすることもできます。

ファイルをここにドラッグ&ドロップするか、コンピューターからファイルを選択してください。

手順 4 : Google Admin console でユーザープロビジョニングを認証して設定する

下のトークンを使用して、Adobe Admin Console へのアクセスを認証し、ユーザーを同期します。このトークンを Google Admin console のユーザープロビジョニングセクションにコピー&ペーストし、ユーザープロビジョニングの設定手順に従います。

アクセストークン

eyJraWQjOjZyZ2lttiwidHlwjoiSldUliwiYWxnIjoiUlMyNTYiLCJ4NXUiOiJzY2lttn0.eyJpc3MiOiixNjljIGMUI2MzU...

クリップボードにコピー

Adobe URL

https://aadsync.services.adobe.com/scim/

クリップボードにコピー

ここをクリック

ここをクリック

G-⑭-1. Adobe ダイアログで、「自動プロビジョニングを設定」をクリックします。

Google Admin

ユーザー、グループ、設定を検索

アプリ > ウェブアプリとモバイルアプリ > Adobe

SAML

Adobe

- SAML ログインをテスト
- メタデータをダウンロード
- アプリの削除

ユーザー アクセス

特定のユーザーが管理対象アプリを利用できるようにするには、グループまたは組織部門を選択してください。 [詳細](#)

[詳細を表示](#)

オフ (すべてのユーザー)

サービス プロバイダの詳細

証明書	ACS の URL	エンティティ ID
Google_2021-10-24-02628_SAML2_0 (有効期限: 2021/10/24)	https://federatedid-na1.services.adobe.com/federated/saml/	https://federatedid-na1.services.adobe.com/federated/saml/

SAML 属性のマッピング

SAML 属性のマッピングが設定されていません

Google ディレクトリのユーザー プロファイル フィールドを SAML サービス プロバイダの属性にマッピングします。 [詳細](#)

[SAML 属性のマッピングを設定](#)

自動プロビジョニング

自動プロビジョニングが設定されていません

Adobe でユーザーの自動プロビジョニングを設定してください

[自動プロビジョニングを設定](#)

ここをクリック

G-⑭-2. Adobe Admin Console の「手順 4 : Google Admin console でユーザープロビジョニングを認証して設定する」の **アクセストークン** と **Adobe URL** をコピーし、「アプリの承認」「エンドポイント URL」にそれぞれ入力する。

× Adobe の自動プロビジョニングを設定

1 アプリの承認 — 2 エンドポイント URL — 3 属性のマッピング — 4 プロビジョニング対象 (省略) — 5 プロビジョニング解除

アプリの承認

Google によるユーザー プロビジョニングを許可するには、Adobe のアクセストークンを入力します。 [詳細](#)

アクセストークン

キャンセル 続行

アクセストークンを入力

ここをクリック

× Adobe の自動プロビジョニングを設定

✓ アプリの承認 — 2 エンドポイント URL — 3 属性のマッピング — 4 プロビジョニング対象 (省略) — 5 プロビジョニング解除

エンドポイント URL

Adobe アカウントにアクセスするには、エンドポイント URL を入力します。 [詳細](#)

エンドポイント URL
{adobe-scim-url}

戻る キャンセル 続行

エンドポイントURLを入力

ここをクリック

G-14-3. 属性のマッピング手順で、属性を変更せずに「次へ」をクリックします。

× Adobe の自動プロビジョニングを設定

✓ アプリの承認 — ✓ エンドポイント URL — 3 属性のマッピング — 4 プロビジョニング対象 (省略) — 5 プロビジョニング解除

属性

Google Directory のユーザー フィールドを追加および選択し、サービスプロバイダの属性にマッピングしてください。*の付いた属性は必須です。 [詳細](#)

Google Directory の属性	アプリの属性
Email > Is primary	→ emails.primary* (必須)
フィールドを選択	→ emails.type
Email > Value	→ emails.value* (必須)
Basic Information > Last name	→ name.familyName* (必須)
Basic Information > First name	→ name.givenName* (必須)
Basic Information > Username	→ userName* (必須)

戻る キャンセル **続行**

変更しない

ここをクリック

G-⑭-4. プロビジョニング対象手順（省略可）で、「次へ」をクリックします。

× Adobe の自動プロビジョニングを設定

✓ アプリの承認 — ✓ エンドポイント URL — ✓ 属性のマッピング — ✓ プロビジョニング対象（省略可） — 5 プロビジョニング解除

プロビジョニング対象（省略可）

プロビジョニング対象を、特定のグループに属しておりアプリへのアクセス権を持つユーザーに制限するには、グループを追加します。プロビジョニング対象を制限しない場合は、アプリへのアクセス権を持つすべてのユーザーが対象になります。 [詳細](#)

グループ

グループを検索

戻る

キャンセル **続行**

ここをクリック

G-⑭-5. プロビジョニング解除手順で、変更せずに「完了」をクリックします。

× Adobe の自動プロビジョニングを設定

✓ アプリの承認 — ✓ エンドポイント URL — ✓ 属性のマッピング — ✓ プロビジョニング対象 (省略) — 5 プロビジョニング解除

プロビジョニング解除

Adobe のユーザー プロビジョニングの解除を設定します。注: Adobe は削除 (復元不可) に対応していません。 [詳細](#)

ユーザーのアプリがオフになった場合

Adobe のアカウントを停止する
24 時間以内

ユーザーが Google で停止された場合

Adobe のアカウントを停止する
24 時間以内

ユーザーが Google から削除された場合

Adobe のアカウントを停止する
24 時間以内

戻る キャンセル **完了**

変更しない

ここをクリック

G-⑮-1. **ユーザーアクセス**には、プロビジョニング状態がオフで表示されます。
ユーザーアクセスのトグルボタンをクリック

Google Admin

ユーザー、グループ、設定を検索

アプリ > ウェブアプリとモバイルアプリ > Adobe

SAML

Adobe

- SAML ログインをテスト
- メタデータをダウンロード
- アプリの削除

ユーザー アクセス

特定のユーザーが管理対象アプリを利用できるようにするには、グループまたは組織部門を選択してください。 [詳細](#)

[詳細を表示](#)

オフ (すべてのユーザー)

サービス プロバイダの詳細

証明書	ACS の URL	エンティティ ID
Google_2021-10-24-02628_SAML2_0 (有効期限: 2021/10/24)	https://federatedid-na1.services.adobe.com/federated/saml/SSO/alias/0d12fef6-ecdc-499a-af59-bb2a747d09e2	https://federatedid-na1.services.adobe.com/federated/saml/metadata/alias/0d12fef6-ecdc-499a-af59-bb2a747d09e2

SAML 属性のマッピング

SAML 属性のマッピングが設定されていません

Google ディレクトリのユーザー プロファイル フィールドを SAML サービス プロバイダの属性にマッピングします。 [詳細](#)

[SAML 属性のマッピングを設定](#)

自動プロビジョニング アクティブ

同期はオンです [同期ログを表示](#)

作成されたユーザー	停止中のユーザー	削除されたユーザー
過去 30 日間に 180 人	過去 30 日間に 0 人	過去 30 日間に 0 人

エラー

過去 30 日間に 0 人

[リストをダウンロード](#)

ここをクリック

G-⑮-2. 「サービスのステータス」で「オン（すべてのユーザー）」を選択し、「保存」をクリックします。

次の組織部門のユーザー設定を表示しています: すべての組織部門

サービスのステータス

サービスのステータス

オン（すべてのユーザー）

オフ（すべてのユーザー）

i すべてのユーザーに変更が反映されるまでに、最長で 24 時間かかることがあります。

未保存の変更が 1 件あります キャンセル **保存**

G-15-3. 自動プロビジョニングを有効にします。

Google Admin

ユーザー、グループ、設定を検索

アプリ > ウェブアプリとモバイルアプリ > Adobe

SAML

Adobe

SAML ログインをテスト

メタデータをダウンロード

アプリの削除

ユーザー アクセス

特定のユーザーが管理対象アプリを利用できるようにするには、グループまたは組織部門を選択してください。 [詳細](#)

[詳細を表示](#)

オン (すべてのユーザー)

サービス プロバイダの詳細

証明書	ACS の URL	エンティティ ID
Google_2021-10-24-02628_SAML2_0 (有効期限: 2021/10/24)	https://federatedid-na1.services.adobe.com/federated/saml/SSO/alias/0d12fef6-ecdc-499a-af59-bb2a747d09e2	https://federatedid-na1.services.adobe.com/federated/saml/metadata/alias/0d12fef6-ecdc-499a-af59-bb2a747d09e2

SAML 属性のマッピング

SAML 属性のマッピングが設定されていません

Google ディレクトリのユーザー プロファイル フィールドを SAML サービス プロバイダの属性にマッピングします。 [詳細](#)

[SAML 属性のマッピングを設定](#)

自動プロビジョニング 無効

同期はオフです [同期ログを表示](#)

作成されたユーザー	停止中のユーザー	削除されたユーザー
過去 30 日間に 180 人	過去 30 日間に 0 人	過去 30 日間に 0 人

エラー

過去 30 日間に 0 人

[リストをダウンロード](#)

有効にする

ユーザーの自動プロビジョニングを行う前に、以下のタスクを完了していることを確認してください。

- Google ディレクトリで必須のユーザー属性を入力する
- 属性のマッピングとプロビジョニングを正しく設定する
- プロビジョニングの対象を、アプリへのアクセス権を持ち、選択したグループのメンバーでもあるユーザーに制限する
- Adobe のライセンス要件を確認する

すべて確認できたら、[オンにする]をクリックします。

キャンセル **有効にする**

ここをクリック

G-⑯-1 手順6 にチェックを入れ、「確定」をクリックします。

手順5 : SAML アプリケーションを有効にし、ユーザープロビジョニングを有効にする

「サービスの編集」をクリックし、サービスステータスをオンにして、SAML アプリケーションを有効にします。次に、ユーザープロビジョニングセクションの「プロビジョニングの有効化」をクリックしてユーザープロビジョニングを有効にします。

手順6 : 確認する

Google Admin console でアドビへのアクセスを認証し、上記の設定手順を完了したことを確認します。

Google Admin console で Adobe へのアクセスを認証し、設定手順を完了しました。

チェック

キャンセル

確定

ここをクリック

G-⑯-2ドメインとディレクトリに対して、Google 管理コンソールからの同期が開始します。同期されたユーザーなどの詳細情報が「詳細」セクションの「設定」タブの下に表示されます。

ディレクトリ > Google IDP

Google IDP

設定

● 同期中 前回の同期日時 : 2020年5月5日 22:28

Google の設定

詳細 ドメイン

ディレクトリソース

Google のドメインとユーザーを変更します。

Google 管理コンソールでユーザープロビジョニングをオンにして、すべての変更を管理コンソールに同期します。

[Google にログイン](#)

1

同期したドメイン

Google アカウントから同期したドメインを変更します。同期したドメインは、「ドメイン」タブに表示されます。

[同期したドメインを変更](#)

1403

同期したユーザー

ユーザーは同期されたグループに含まれています。これらのユーザーを製品および非同期グループに個別に割り当てることができます。

[ユーザーを表示](#)

詳細情報が表示される

G-⑰ Adobe Express 小中高校向け へのユーザー割り当てをします。

ここをクリック

G-18 ユーザーグループを作成します。新規ユーザーグループをクリック。

The screenshot shows the Adobe Admin Console interface for managing user groups. The top navigation bar includes the Admin Console logo and various menu items: 概要 (Overview), 製品 (Products), ユーザー (Users), パッケージ (Packages), アカウント (Accounts), ストレージ (Storage), インサイト (Insights), 設定 (Settings), and サポート (Support). The current page is titled 'ユーザーグループ' (User Groups) and shows 0 user groups. A search bar is available for searching by group name. The 'New User Group' button is highlighted with a red circle and a yellow callout box labeled 'ここをクリック'. The left sidebar also has a 'ユーザーグループ' (User Groups) menu item highlighted with a red circle and a yellow callout box labeled 'ここをクリック'. The main content area shows a table with columns for 'グループ名' (Group Name), 'ユーザー数' (Number of Users), and '管理者数' (Number of Administrators). The table is currently empty, and a placeholder icon is visible at the bottom.

G-19 ユーザーグループ名を入力し、保存をクリック。ユーザーを一括追加をクリック。

新規ユーザーグループを作成

入力

ユーザーグループ名

ユーザーグループの名前

説明

ここに説明を入力

キャンセル 保存

ここをクリック

Admin Console

概要 製品 ユーザー パッケージ アカウント 設定 サポート

鎌倉学園

ユーザーグループ > 生徒

ユーザー

ユーザーグループ

管理者

ディレクトリのユーザー

生徒

0 管理者数 0 ユーザー数

設定

ユーザー 管理者 製品プロフィール

メールアドレス、ユーザー名、姓または名で検索

ユーザーを追加 ...

ユーザーを一括追加

CSVでユーザーを割り当て解除

ユーザーリストをCSVに書き出し

一括操作の結果

ユーザーが見つかりません。メールアドレス、姓または名で検索してみてください (3文字以上の入力が必要です)

ここをクリック

ここをクリック

G-⑳ CSVテンプレートを参考にGoogleに登録したユーザー情報を入力しCSVファイルをアップロード。

CSV でユーザーグループを追加

ここをクリック

リ値またはセミコロン区切り値 (CSV) のスプレッドシートをアップロードすることで、ユーザーの追加、削除、編集に加え、多数のユーザーの製品の一括割り当て、一括割り当て解除をおこなうことができます。

まず CSV テンプレートをダウンロードし、追加するユーザーグループを CSV スプレッドシートに入力します。CSV ファイルは、コンマまたはセミコロン区切りを使用する必要があります。[よくあるアップロードの問題のトラブルシューティングに関する説明を参照](#)してください。CSV ファイルを以下にアップロードします。

CSV ファイルに 25,000 人のユーザーグループを超えるユーザーが含まれている場合は、25,000 人のユーザーグループ未満になるようにファイルを小さく分割し、別々に読み込んでください。

↓ CSV テンプレートをダウンロード

ファイルをドラッグ&ドロップ

キャンセル アップロード

ここをクリック

G-③① 製品プロファイルを割り当てし、保存をクリック。
追加されたユーザーグループにAdobe Express (小中高校向け)の権限が付与されました。

この製品にユーザーを追加

この製品に追加するユーザーのメールアドレスを入力してください。

入力

ユーザー 1 削除

名前、ユーザーグループ、またはメールアドレスを入力 IDの種類

user_group_01 ▼ Adobe ID

名前	メールアドレス	SSO ユーザー名
Sakamoto Ryosuke	adobe.sakamoto@gmail.com	adobe.sakamoto@g...

製品

+ Adobe Express 小中高校向け ×

製品プロファイル
既定の Adobe Express 小中高校向け 構成

ユーザー 2

名前、ユーザーグループ、またはメールアドレスを入力

_____ ▼

キャンセル **保存**

実際の画面と
一部表記が
異なる場合があります

ここをクリック

ここをクリック

参考リンク

Adobe Admin Console

[エンタープライズ版およびグループ版の管理者ガイドへようこそ](#)

[Creative Cloud 教育機関向け | デプロイメントガイド](#)

[ユーザーの ID タイプの編集](#)

[Admin Console の概要](#)

[Microsoft Azure でのユーザー認証](#)

[Adobe との SSO 用に Google フェデレーションを設定する](#)

Google Admin Console

[Adobe 用に SAML 経由での SSO を設定する](#)

[Adobe の自動プロビジョニングの設定](#)

[SAML アプリのエラー メッセージ](#)

[監査ログ](#)

[Admin Console ご利用ガイド 企業版](#)

※「企業版」ですが、フェデレーションの設定は教育機関も共通の内容になっております。

[フェデレーション設定紹介動画](#)